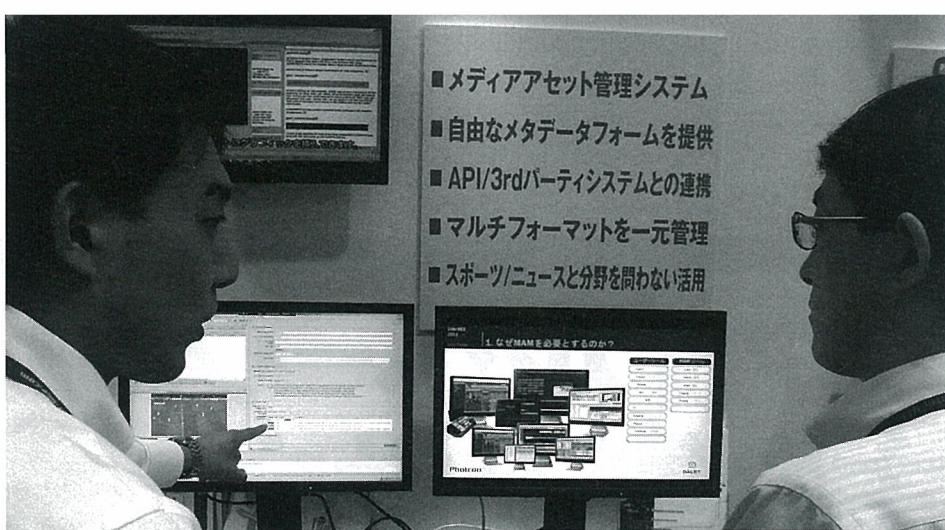




前回に続きイスラエルのニューメディア企業8社が出展



- メディアアセット管理システム
- 自由なメタデータフォームを提供
- API/3rdパーティシステムとの連携
- マルチフォーマットを一元管理
- スポーツ/ニュースと分野を問わず活用

特集

InterBEE 2011

ファイルベースの 加速提案

今回で3回目となった弊社ブースツアー。4回で総勢46名が参加。「ニューメディア」の旗に集まるというツアーの正しい姿で実施



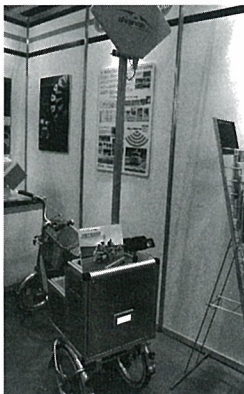
小さくとも注目提案①

カーナシステムが提案するレガシーから解放された次世代進化型ビデオカメラシステム「SXH-360」。PCベースで、既存のビデオフォーマットの制約にとらわれないリアルタイムキャプチャ、リアルタイム処理を実現



小さくとも注目提案②

徳島の松浦機械製作所が前回展示で話題となった5GHz帯無線LANアンテナと自動方調雲台で走行中のIP通信を実現した移動中継自転車「チャリー」も進化



地デジ移行後の初となったInterBEE 2011。11月16日～18日の3日間で3万人を超える来場者で賑わった。放送とプロ映像業界が直面する技術テーマは「ファイルベース」である。これまでのテープによるベースバンド技術からの大転換となるわけで、システム提案の深遠さは想像以上だ。これまでは個々の技術が多かったが、今回はファイルベース先頭ランナーの企業からファイルベースを運用するためのマネジメント管理の提案が登場してきた。また、デジタルの多様なフォーマットに対応するため、その変換となるトランスコード技術を支えるクオリティチェック(QC)機能も、画質の主観的な判断に及んできた。最新動向も含めた報告第一弾。

記事構成

InterBEE レポート

金子 隆・(株)フォトロン 新規事業プロジェクト テクニカルリーダー
「ファイルベースの主な製品動向」

本誌主催 Xデー勉強会

被災3県 民放7局担当者によるパネル討論報告
「未曾有の災害経験から放送・報道システムを考える」

注目技術提案

①朋栄 → MediaConcierge®
「ワークフロー管理にも対応」

②NHK+ 日立ソリューションズ

「映像品質の劣化検出機能付き
映像フォーマット変換装置」提案

③グラスバレー → STRATUS

「ファイル素材のより便利で、
よりスムーズな運用環境」提案